



～ えがおいっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい つねとみの子 ～

校長 平田 政行

「自立」していくための力を！

子どもたちは、いずれ大人になり社会に出て活躍していくことが求められる時が来ます。その時、社会のいろいろなルールに従ったり、周りの人の気持ちを考え、周りに合わせることも必要になったりする時もあります。そうしながらも自分の考えをしっかりと持ち、しっかりと主張していくことができることも社会の中では大切になって来ます。

学校は、その準備期間で、学校の集団で何かをしたり、あるいはグループで話し合っ

て何かを決めたりすることは社会性を培っていくための大切な練習でもあります。しっかりとお互いが意見を出し合っ

て話し合い、みんなで決めたことについてはそれに従ってやってみる。時には我慢することが必要な時もあるかもしれません。こうした「自立」という視点で考えた場合に大切になってくるのは、やはりお互いのコミュニケーション力です。学校では、こうしたコミュニケーション力についても様々な場面を通して、育てていきたい力であると考えています。

ゲームなどからでは経験できない、いろいろな人との関わりや会話の中から育っていくコミュニケーション力をこれからは大切にしていきたいと考えています。



歯を大切にしよう！

- 1 (木) 心アンケート
 - 2 (金) 全校朝会 誕生給食 (6月)
 - 5 (月) あいさつ運動6年
選書会
 - 6 (火) あいさつ運動4年
 - 7 (水) あいさつ運動3年
 - 8 (木) あいさつ運動2年 外そうじ
 - 9 (金) あいさつ運動1・5年
ALT訪問
 - 12 (月) やまもも (3・4年) 
 - プール清掃 (6年)
 - 14 (水) 非行防止教室 (5年)
PTAミニバレー練習日
 - 15 (木) 名前の日
福祉体験活動 (3年)
フラワータイム
 - 16 (金) 教育相談 つねこえ (5年)
クラブ
 - 19 (月) ALT訪問
 - 20 (火) PTAミニバレー練習日
 - 21 (水) ハートフル委員会
 - 22 (木) 外そうじ 委員会
 - 25 (日) 参観日 懇談会 (4時間給食無し)
PTAミニバレー大会
 - 26 (月) 振替休業日
 - 29 (木) 外そうじ
 - 30 (金) 絵本の広場
- ※ 6(火)～16(金)教育相談週間
※ 19(月)～23(金)さわやかチェック週間
※ 27(火)～30(金)プール開き期間

「ひとつの言葉」

ひとつの言葉でけんかして
ひとつの言葉で仲直り
ひとつの言葉で涙を流し
ひとつの言葉で笑い合い
ひとつの言葉で頭が下がり
ひとつの言葉でいがみあう
ひとつの言葉はそれぞれに
ひとつの心を持っている
きれいな言葉はきれいな心
優しい言葉は優しい心
ひとつの言葉を大切に
ひとつの言葉を美しく

6月の全校朝会で紹介した「ひとつの言葉」という詩です。

言葉は、使い方によっては、人に不快な思いを与え、時には人を傷つけることもあります。しかし逆に、言葉は人に勇気を与え、活力を生み出し、人に大いなる力を与えることができるものだと思います。

言葉に込められる「心」が本物で、美しいものであるからこそ、人の心を動かす言葉となるのだと思います。

言葉を大切に美しく使い、相手を思う優しい言葉かけができる人でありたいと思っています。

子どもたちにもわかりやすい詩です。一人一人の心に響けばと思います。

恒富小HPはこちらから→



つねこえ（6年生）より

6年の土井一紗です。

今から「春のいぶき」という国語の学習で書いた俳句について発表します。

「初めてばかり 苦難ばかりの 春の道」

私は、4月に転校してきました。初めての恒富小学校、初めて会う友達、初めてのことばかりでした。しかも、6年の難しい勉強もあります。そんな大変な出来事を春の道にたとえて俳句にしました。



6年生全員の俳句が階段掲示板に掲載されています。

国語の学習を振り返って

六年 中村 ゆき菜

私は、国語で「物語をおもしろく読む方法」を学びました。今まで物語を読むのはめんどくさいと思っていただけ、この方法を知ってからは、物語を読むことが好きになりました。

その方法とは、「視点を変える」ということです。例えば、みなさんが知っているももたろうは、ももたろうが悪い鬼をたおすお話です。でも、それは、ももたろうが主人公だからです。鬼が主人公なら、いきなり少年と動物がやってきて、自分がたおされてしまうお話です。この場合、鬼がどうして悪いことをするようになったのが物語で描かれるかもしれません。主人公を変えるだけで、こんなにお話が変わるんだとおどろきました。

「視点を変える」というのは、主人公を変えるということだけではなく、人の気持ちを変えると言いうことにもつながると思います。

たとえば悪気がなくていった言葉や、やったことが、言われた人に視点を変えると、とてもきずついでしまう、と分かることがあります。もしケンカなどをしてイライラしても、もしかしたら相手がこう思っているかもと思うたら、身の周りがあるいやなこととがなくなると思えます。視点を変えると相手を思いやることができるし、やさしさになるんだと思いました。

これからは、日々の生活でも視点を変えようということを意識しようと思います。

「つねこえ」は、自分の気持ちや考えを自分の言葉で表現する意欲をもつこと、友達の意見に対して自分の考えを述べることなど、言語を通して表現する力を伸ばすことを目的として、毎月、給食の時間に各学年に発表をしてもらっている時間です。

今回は、6年生の2名の発表がありましたので紹介します。